

2 平成 23 年度下半期の財政状況

○概況

月例経済報告によると、平成 23 年 10 月時点の我が国の経済の基調判断は、「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、引き続き持ち直しているものの、そのテンポは緩やかになっている。先行きについては、サプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。ただし、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、回復力の弱まっている海外景気が下振れた場合や為替レート・株価の変動等によっては、景気が下振れするリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。」とされました。

こうした中、平成 23 年度下半期においては、国補正予算と歩調を合わせた補正予算を編成し、喫緊の課題に対処しました。また、法人二税等の県税や地方交付税が当初見込みを上回ったことから、これらの歳入を増額補正する一方で、当面する課題に対応するため、財源調整のための基金等に積み立て、基金残高を確保することとしました。なお、執行においては、さらなる経費の節減等に努めた結果、平成 23 年度の一般会計決算では、収支の均衡がとれる見込みです。

○予算の補正状況

平成 23 年 9 月県議会定例会における補正予算編成後に生じた新たな課題や国の補正予算等への対応、さらには年度内における各事業の執行状況や最終的な財源見通しに基づく所要の調整等のため、予算の補正を行いました。その結果、平成 23 年度の最終予算額は、次のとおりとなりました。

一般会計	5,012 億 5,168 万 4 千円 (対前年度最終 ▲178 億 7,155 万 4 千円、▲3.4%)
特別会計	1,712 億 3,853 万 2 千円 (対前年度最終 ▲59 億 1,205 万 1 千円、▲3.3%)

付表 第 10 表 平成 23 年度下半期の歳入歳出予算の補正状況 → 60 ページ

第 11 表 平成 23 年度一般会計性質別歳出予算（最終予算の比較） → 61 ページ

○補正予算の主な内容

平成 24 年 2 月県議会定例会における補正予算

<国補正予算関連 平成 24 年 2 月 21 日県議会定例会提出>

国第 4 次補正予算等に関係する事業について、総額で 42 億 1,699 万 1 千円の増額補正を行いました。主なものとしては、放射線環境監視のためのモニタリングポストの整備のほか、国経済対策関連基金の積み増し等の経費を計上しています。

<その他 平成 24 年 3 月 14 日県議会定例会提出>

歳入のうち、県税については、企業収益の回復等により法人二税において 39 億円余りの増加が見込まれたことなどにより、全体で 71 億 8,000 万円増額したほか、中小企業関係の貸付金元利収入の減等に伴い、諸収入を 98 億 5,179 万 7 千円、事業費の減等により、国庫支出金を 19 億 8,388 万 6 千円、県債を 18 億 2,390 万円それぞれ減額しました。また、財政調整基金や県債管理基金等の基金について、

取崩額の減額を行うことにより、その残高を確保し、後年度の財政運営や当面する課題への対応に備えることとしました。

歳出については、財源調整的な基金等への積立額の増額のほか、生活福祉資金に対する貸付原資の補助や車道・歩道の除雪費等を増額しました。また、各事業の執行における不用額等を調整するための減額も併せて行いました。

追加した事業の主な内容は、次のとおりです。

平成23年度2月補正予算の主な内容（追加・増額したもの）

<国補正予算関連>

(単位：千円)

所 管	事 業 名	補 正 額
知 事 直 轄 組 織	モニタリングポスト整備事業	406,400
琵琶湖環境部	森林整備地域活動支援事業	40,010
	森林整備加速化基金事業	1,370,260
	補助造林事業	58,500
	補助林道事業	35,700
健康福祉部	妊婦健康診査支援臨時特例基金積立金	141,466
	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金積立金	654,951
	障害者自立支援対策臨時特例基金積立金	224,000
	子育て支援対策臨時特例基金積立金	1,096,682
農政水産部	県営かんがい排水事業	135,725
	県営経営体育成基盤整備事業	32,597
	県営農地防災事業	20,700

<そ の 他>

(単位：千円)

所 管	事 業 名	補 正 額
総 務 部	財政調整基金積立金	2,349,810
	県債管理基金積立金	1,297,516
	福祉・教育振興基金積立金	1,199,806
	県民税利子割市町交付金	215,931
	県民税配当割市町交付金	172,000
健康福祉部	乳幼児福祉医療費助成事業費補助	234,188
	特定疾患治療研究事業	44,703
	重度障害者(児)福祉医療事業	74,557
	障害者自立支援対策臨時特例基金積立金	132,396
	在宅医療福祉を担う看護職員確保対策基金積立金	200,034
	国民健康保険基盤安定対策費負担金	162,780

所 管	事 業 名	補 正 額
土 木 交 通 部	滋賀県土地開発公社事業費用負担金	700,111
	車道・歩道の除雪費	703,820
警 察 本 部	車両燃料費	80,000
教 育 委 員 会	滋賀県体育協会経営基盤強化補助金	169,013

このほか、債務負担行為について、滋賀県営都市公園管理運営委託の追加を行いました。

特別会計では、競艇事業の売上減などにより公営競技事業特別会計において減額したほか、6会計で減額補正を行うとともに、諸収入の増額などにより市町振興資金貸付事業特別会計において増額したほか、3会計で増額補正を行いました。

また、平成23年度予算のうち、地元や関係機関との調整などに時日を要し、年度内に事業執行の見通しが得られない事業について、繰越明許費の補正を行い、一般会計で64件、127億2,776万円、流域下水道事業特別会計で1件、10億772万3千円、土地取得事業特別会計で1件、1,698万2千円を翌年度に繰り越しして使用し、事業の進捗を図ることとしました。

繰越明許費の概要は、次のとおりです。

平成23年度繰越明許費の内容

(一般会計)

(単位：千円)

款別	事業名(主な繰越理由)	件数	金額
政 策 調 整 費	防災行政推進費(設計協議等に時日を要したため)	1	406,400
琵琶湖環境費	補助造林事業費(法人の事業が、地元との調整等に時日を要し遅延したため)ほか	8	1,088,231
健 康 福 祉 費	介護施設等施設整備費補助金(法人の事業が、地元との調整等に時日を要し遅延したため)ほか	7	1,468,787
農政水産業費	県営かんがい排水事業費(地元との調整等に時日を要したため)ほか	11	1,609,738
土 木 交 通 費	補助道路整備事業費(地元との調整等に時日を要したため)ほか	32	7,884,855
警 察 費	単独交通安全施設整備費(関係機関との調整等に時日を要したため)	1	16,500
教 育 費	高等学校建設費(工法検討等に時日を要したため)	1	91,464
災 害 復 旧 費	補助土木施設災害復旧事業費(関係機関との調整に時日を要したため)ほか	3	161,785
計		64	12,727,760

(特別会計)

(単位：千円)

会計別	事業名（主な繰越理由）	件数	金額
流域下水道事業	流域下水道建設事業費（関係機関との調整等に時日を要したため）	1	1,007,723
土地取得事業	公共用地先行取得事業費（用地補償交渉に時日を要したため）	1	16,982
計		2	1,024,705

○予算の執行状況

一般会計については、収入は、国庫支出金などで前年度を上回っているものの、県税や繰入金、県債などで前年度より低い収入割合となっていることから、全体として前年同期を下回る割合となっています。支出については、健康福祉費や土木交通費などで前年度を下回っていることから、前年同期をやや下回る支出割合となっています。

一方、特別会計については、収入は公営競技事業で、支出は流域下水道事業や公営競技事業でそれぞれ前年度を上回ったことなどから、全体として前年同期に比べ上回っています。

平成 24 年 3 月 31 日現在における収入および支出の状況

一般会計	予算に対する収入割合	84.1%	(前年同期 85.1%)
	支出割合	84.3%	(前年同期 85.0%)
特別会計	予算に対する収入割合	92.4%	(前年同期 91.2%)
	支出割合	93.3%	(前年同期 91.1%)

付表 第 12 表 平成 23 年度予算執行状況（平成 24 年 3 月 31 日現在） → 62 ページ

○一時借入金の状況

年間の予算執行に当たって支払資金が不足する場合に、その不足を補うために一時的に当座借越等により借入を行っていますが、その状況は次のとおりです。

一般会計			
平成 23 年度借入限度額	1,200 億円	(前年同期	1,200 億円)
平成 24 年 3 月 31 日現在の借入額	8 億円	(前年同期	— 億円)
下半期の最高借入額	296 億円	(前年同期	200 億円)
公営競技事業特別会計			
平成 23 年度借入限度額	3 億 5,000 万円	(前年同期	3 億 5,000 万円)
平成 24 年 3 月 31 日現在の借入額	— 円	(前年同期	— 円)